



～どなたでもお越しください～

なつやすみこども会のお知らせ

本チラシを7/30の子供まつりにご持参いただいた場合、
小学生以下のお子様には、かき氷を1人に1つプレゼントさせていただきます
(販売終了次第終了)

昨年ご好評いただいた、夏休みのお子様向け企画を
今年も開催いたします。

ぜひ、お誘いあわせの上、お越しください。

こどもまつり

7/30 (土) 10時-13時

かき氷、やきそば、ゲーム、
などなど、お店屋さんごっこ
を楽しみます。

大人の方はぜひ、お客様と
していらしてください。

たのしい工作

8/18 (木) 10時-12時

今年はジェルキャンドル
づくりにチャレンジです。
きれいにできるかな？

会費500円 (おやつ付き)

※お電話にてお申込みください

品川バプテスト教会

品川区西品川2-12-18

03-3494-1578 (牧師 まつむら)

行いによらず愛される、この体験を共に

聖書：マルコによる福音書10章

イエスが旅に出ようとされると、ある人が走り寄って、ひざまずいて尋ねた。

「善い先生、永遠の命を受け継ぐには、何をすればよいでしょうか。」イエスは言われた。

「なぜ、わたしを『善い』と言うのか。神おひとりのほかに、善い者はだれもいない。

殺すな、姦淫するな、盗むな、偽証するな、奪い取るな、父母を敬え』という掟をあなたは知っているはずだ。」すると彼は、「先生、そういうことはみな、子供の時から守ってきました」と言った。

イエスは彼を見つめ、慈しんで言われた。

「あなたに欠けているものが一つある。行って持っている物を売り払い、貧しい人々に施しなさい。

そうすれば、天に富を積むことになる。それから、わたしに従いなさい。」

その人はこの言葉に気を落とし、悲しみながら立ち去った。たくさんの財産を持っていたからである。

イエスは弟子たちを見回して言われた。「財産のある者が神の国に入るのは、なんと難しいことか。」

弟子たちはこの言葉を聞いて驚いた。イエスは更に言葉を続けられた。

「子たちよ、神の国に入るのは、なんと難しいことか。金持ちが神の国に入るよりも、らくだが針の穴を通る方がまだ易しい。」弟子たちはますます驚いて、「それでは、だれが救われるのだろうか」と互いに言った。

イエスは彼らを見つめて言われた。

「人間にできることではないが、神にはできる。神は何でもできるからだ。」

--

「もし神様がおられ、天国があるとするとしたら、私たちはどうしたら、神様に認められ、天国に入ることができるのでしょうか？」2,000年前、イエスキリストの前に現れた男は、そんな疑問をイエスにぶつけました。

この男は、現代でいうところの、いわゆるエリートであり、加えて品行方正で、お金にも恵まれ、周りからも憧れのまなざしで見られる存在でありました。しかし、この男は、内面で、不安を抱えていました。

こんなにも頑張り、正しさを追求した自分でありながらも、いつも、自分が周りから認められるかどうか気がなり、本当の意味での安心感を得ていなかったということです。

私たちも、人それぞれ、形は違えど、この男と同じような環境に置かれています。

社会で生きるために、社会から認められるために、人はだれしも頑張り続けなければならない存在だからです。

そこに休みはありません。たくさんの不安があります。

さて、イエスは、この男に「行いにより、神様から認められたいと思うのであれば、持ち物をすべて売り払ってみてはどうか？」と問いかけました。この問いの意図はなんでしょうか？

これは「神と人との関係が、人の行いに左右されるようなものであれば、そんなむなしいことはない」ということではないのでしょうか。なぜなら、私たちは、持ち物全部売り払って施すほどの大きな愛を、持てない存在だからです。

イエスは、この男との会話において、そのような、人の本質を明らかにされました。

それは言い換えれば、「神に認められるために、神の顔色を見て、良い行いを極めようとするなんて生き方は、むなしい」、そして「そんな不安は必要ない」ということです。ここに福音（良いニュース）があります。

それは、『神と私たちのつながり』は、私たちの行いの良し悪しに左右されるような弱いものではない、絶対的、不変的なものである、というイエスの力強い、愛に満ちた確信です。

天国への門が開かれるというのは、私たちの仕事でなく、神様の仕事だということです。 私たちを無条件に愛してくださる、これが神様のされること、神様のできること、神様の決めたことだということです。

神様からの不変的な愛により、つまり神様からの一方的な愛と招きにより、私たちに救いが届いています。

その神様からの愛を信じ、安心して生きるように、とイエスは私たちに語りかけます。

教会は、この神様からの愛を受け止め、ありのままの姿で愛されることを信じ、その愛を分かち合おうと聖書の言葉を学ぶ場所です。「行いによらずに、愛される」その体験を、共に分かち合えれば幸いです。

たくさん愛されて成長していく子どもたち

もうかれこれ10年になるでしょうか、「きみは愛されるために生まれた」という歌が流行りました。

今でもミッションスクールなどの幼稚園、小学校で歌われています。

この歌の作曲、作者は韓国のイ・ミンソプという方です。彼は教会の伝道師で教会の中学生、高校生の賛美指導者です。まずは日本語の歌詞を紹介しましょう。日本語訳は神明宏さんと朴鍾弼さんによるものです。

きみは愛されるために生まれた きみの生涯は愛で満ちている

きみは愛されるために生まれた きみの生涯は愛で満ちている

永遠の神の愛は われらの出会いの中で実を結ぶ

きみの存在が 私にはどれほどの大きな喜びでしょう

きみは愛されるため生まれた 今もその愛を受けている

きみは愛されるため生まれた 今もその愛を受けている

この歌は、今日のすべての赤ちゃん、子どもたちにいつも歌って聞かせたい歌だと思われています。

赤ちゃん、子どもたちの脳は、親をはじめとする周りの人びとの愛によって脳細胞が活発に分裂し、成熟した大人に成長してゆくものです。

品川バプテスト教会は、この「こどもまつり」を通して、“子どもたちは神様に愛されている”ということをお伝えしたいと願っています。（品川バプテスト教会 牧師 松村誠一）